

IKI CITY
吉岐市

議会たより

第39号



祭りだ！祭りだ！
ヨイヨイヨイヨイ！

勝本港まつり (10/15)

パレードを盛り上げた中学生

9月会議で決めたこと

◇八幡浦地区特定漁港整備工事請負契約の締結

八幡漁港の外防波堤整備について長さ100mの工事契約するもので、工期は平成26年3月25日まで。
 契約金額 4億108万50円
 契約の相手 株式会社広瀬組
 代表取締役 広瀬守孝

◇沓崎市ケーブルテレビ施設の指定管理者の指定 →【委員会継続審査】

ケーブルテレビの次期指定管理者を指定する。
 指定管理者 関西ブロードバンド株式会社
 代表取締役社長 三須 久
 指定の期間 平成26年4月1日
 ～平成31年3月31日(5年間)

◇沓岐焼酎による乾杯を推進する条例制定

麦焼酎発祥の地、沓岐の特産品である沓岐焼酎の普及促進を図るため、沓岐焼酎による乾杯を推進する条例で、毎年7月と11月を沓岐焼酎乾杯の強調月間とさだめるもの。



Q 条例第2条に推進に必要な措置を講ずるとあるが何か。

A 沓岐焼酎で乾杯の習慣を広めるための方策として、沓岐焼酎の歴史や美味しい飲み方、乾杯の作法などを紹介するパンフレットを作成するなど。

沓岐焼酎の歴史や美味しい飲み方、乾杯の作法などを紹介するパンフレットを作成するなど。

Q 佐賀県のように、県下全域でも県産焼酎として乾杯を推進するよう県に働きかけてはどうか。

A 長崎県では既に沓岐焼酎も含めた県産酒の愛飲の推進、県内での消費拡大に重点的に取り組んでいる。県産酒での乾杯を推進する条例制定の働きかけについても検討する。



議会でも「沓岐焼酎でカンパニー」



Q 開局からの総括と現時点でのケーブルテレビの加入状況、及び2期目に期待することは何か。

A 運営開始当初は、テレビの月額視聴料金等に対する不満などがあったが、1年を過ぎたころからは市民のご理解を頂いていると考える。加入件数は8月末現在でテレビ8,572件、インターネット3,023件、IP電話1,415件。これ以上の加入者増については相当の企画力が必要であり、今後の企画力と実行力によるサービス向上を期待する。

Q 行政がかかわっているにもかかわらず番組の内容が民間において偏りがあるのではないか。大きなスーパーのお買い得情報があるが、小さな商店の取り組みはクローズアップされていない。

A 行政が管理する公的施設であり、当然公正であるべき。そういった観点も踏まえ、管理するよう指導していきたい。

【本会議採決】10/4産業建設常任委員会でも可決、10/10再開の10月会議において全会一致で可決。

◇沓崎市立一支国博物館の指定管理者の指定

博物館の次期指定管理者を指定する。
 指定管理者 株式会社乃村工藝社
 代表取締役社長 渡辺 勝
 指定の期間 平成26年4月1日
 ～平成31年3月31日(5年間)



Q 平成22年3月14日オープンからの博物館管理運営に関する総括と、2期目において期待するところは何か。

A 県・市・指定管理者の三者連携で事業検討を行い、その成果として、「しまごとと大学事業」、「しまごとと元気館事業」等を展開し、市民と博物館が一体となることができた。各種事業の展開により、これまで以上に市民の活力創出、沓岐市の活性化につながるものと期待している。

秋の議会だより

◇主な内容

- ・9月会議で決めたこと 2P～
- ・どえーな予算のあと? 4P～
- ・一般質問(8人が登壇) 10P～
- ・市民の声 15P
- ・議会だよりクイズ 16P

平成25年度 補正予算

一般会計の補正額 (8月補正)	3,163万4千円
// (9月補正)	8億2,134万 円
// (10月補正)	1億4,107万9千円
特別会計補正額 (9月補正)	1億3,629万8千円
補正後の予算総額	336億4,053万6千円

○平成25年度会計別補正予算一覧

(単位：千円)

会 計 名	現計予算額	8月補正額	9月補正額	10月補正額	補正後予算額 合計
一 般 会 計	22,171,315	31,634	821,340	141,079	23,165,368
特 別 会 計	国民健康保険事業	5,005,526		58,961	5,064,487
	後期高齢者医療事業	295,920			295,920
	介護保険事業	3,104,893		42,815	3,147,708
	簡易水道事業	802,548	2,700	3,784	809,032
	下水道事業	430,040		5,271	435,311
	特別養護老人ホーム事業	456,070		764	456,834
	三島航路事業	124,614		△ 1,360	123,254
	農業機械銀行	116,559		26,063	142,622
	合 計	10,336,170	2,700	136,298	10,475,168
一般会計、特別会計の合計	32,507,485	34,334	957,638	141,079	33,640,536

○平成25年度企業会計予算一覧

(単位：千円)

会 計 名	内 訳	現計予算額	8月補正 予算額	9月補正 予算額	10月補正 予算額	補正後予算額 合計
企 業 会 計	病 院 事 業	収益的収入	2,675,912		3,334	2,679,246
		収益的支出	2,733,338		882	2,734,220
		資本的収入	324,712			324,712
		資本的支出	382,233		6,434	388,667
	水 道 事 業	収益的収入	156,878			156,878
		収益的支出	150,832		△ 290	150,542
		資本的収入	2,197			2,197
		資本的支出	156,005			156,005



予算特別委員会の様子



『どえーな予算のあと?』

◎平成 25 年度 一般会計 (補正予算 4 号)

1 「畷岐に新しい風を」

地域おこし協力隊事業 247万7千円追加

農村・漁村・観光・物産の振興計画に各1名の協力隊を導入し、3年間の限られた期間に一定以上の事業基盤を確立させるもの。地域おこし協力隊が外部専門家のコーディネートのもと、新しい観光旅行商品や特産品を開発するための謝礼金、旅費等の事業費。



地域おこし協力隊の4人

2 「こどもが病気、でも休めない…」

病児保育事業 205万円追加

病気のかかり始めや病気回復中の軽症な児童が、保育所などに行けず保護者の都合などで家庭の育児ができない場合に、医療機関へ委託し実施している「病児保育事業」の利用者数が増える見込みのため委託料を増額。

3 「農作物を守らねば…」

有害鳥獣被害防止対策事業 519万3千円追加

勝本若宮島のシカが増殖しており、今後畷岐本土へ渡り農作物被害が予想されるため、シカの駆除を実施する。また、イノシシの専門家による生息調査の委託料を増額。

4 「優れた畷岐牛を育てるため」

家畜導入事業 1,902万円追加

肉用牛の導入にかかる費用に助成をして、家畜経営の維持・拡大を図るもの。
一般タイプ(維持)の138,000円の補助対象に40頭分の追加と、市単独事業で1頭あたり2万円から5万円に増額するもの。

5 「県営事業への負担金」

・農用地の基盤整備事業負担金 3,424万円

刈田院地区の河川、圃場整備事業、排水対策特別事業、及び老朽ため池整備事業に伴う市の負担。

・漁港整備事業負担金 4,265万円

大島漁港は、大島・長島地区の用地整備等。芦辺漁港は、フェリー座礁を受けての航路浚渫(海底の土砂を掘り取る)工事に伴う市の負担。

・港湾整備事業負担金 2,083万9千円

郷ノ浦港、印通寺港、勝本港の浮棧橋の整備と、郷ノ浦港埋立地の緑地整備、勝本港護岸の高潮対策施設の改修工事に伴う市の負担。

・道路整備事業負担金 1,998万4千円

県道の渡良浦初瀬線、新郷ノ浦港線、及び主要地方道郷ノ浦沼津勝本線と、国道382号線の整備に伴う市の負担。

6 「異常気象による復旧」

農地及び農業用施設災害復旧事業 676万9千円

8月4日～5日の豪雨により被災した農地の復旧工事費。(補助3箇所、単独5箇所)

7 「イルカの購入」

イルカパーク管理運営事業 1,715万円

イルカが3頭に減ったためバンドウイルカ3頭を購入し、新規トレーナーを雇用する。



イルカパーク (勝本町)

平成24年度決算を認定

各会計決算書が、監査委員の意見を付して提出された。平成24年度の事業に伴う1年間の執行状況について、事業（補助金等）に無駄がないか等精査を行い、次年度の予算につなげて行くよう監視します。

監査委員の意見

【一般会計、特別会計】

1. 財政状況については主要な財務比率など、経常収支比率を除き指標の基準内ではあるが、今後、地方交付税の段階的な縮減に加え、合併特例債等の償還財源の確保など財政の健全強化の取組みが必要と見料する。
2. 収入未済額が761,106千円、確定した財源となるため回収整理に務めること。

【公営企業会計】

病院事業

1. かたばる病院は市民病院へ機能統合され、H26年2月末で解散となる。財産整理等に配慮し更なる経営改革を行い、病院企業団への加入に向けた取組み強化が必要と見料する。
2. 未収金額（個人負担分）39,402千円の回収整理に努めること。

水道事業

1. 諸施設の更新及び修繕のコスト増大と吸水人口の減少、節水効果などにより収益の減少傾向が見受けられる。経営の健全かつ安定的な運営に向けた取組みに着手する要がある。
2. 未収金額44,443千円の回収整理に務めること。

◇平成24年度決算額

(単位：円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年に繰越すべき額	実質収支額	
○ 一般会計	21,517,660,870	20,870,873,489	646,787,381	90,156,169	556,631,212	
○ 特別会計	国民健康保険事業	5,096,929,908	4,928,090,688	168,839,220	0	168,839,220
	後期高齢者医療事業	298,331,692	295,919,072	2,412,620	0	2,412,620
	介護保険事業	3,018,367,633	2,939,608,971	78,758,662	0	78,758,662
	簡易水道事業	851,630,614	849,651,724	1,978,890	0	1,978,890
	下水道事業	379,609,966	379,492,546	117,420	0	117,420
	特別養護老人ホーム事業	476,203,327	407,073,288	69,130,039	0	69,130,039
	三島航路事業	121,402,461	121,402,461	0	0	0
	農業機械銀行	132,812,904	118,644,563	14,168,341	0	14,168,341
	合計	10,375,288,505	10,039,883,313	335,405,192	0	335,405,192
一般会計、特別会計の合計	31,892,949,375	30,910,756,802	982,192,573	90,156,169	892,036,404	

○公営企業会計

(単位：円)

区分	収入	支出	
病院事業	収益的	2,499,261,949	2,691,955,840
	資本的	165,571,000	223,556,935
水道事業	収益的	155,521,154	136,640,464
	資本的	3,145,667	200,717,233

※かたばる病院と市民病院合算

決算特別委員会意見

当委員会は議長及び監査委員を除く14名で構成し、平成24年度一般会計決算認定について審査を行った。

【一般会計】

- ①未収金の徴収は、他市を参考に第三者委託など検討されたい。また、不納欠損は市民が不信を持たないよう執り行うこと。
- ②古紙類等資源化処理委託料の削減は努力しているが、引き続き交渉を続け、更なる削減に努められたい。
- ③イルカパークの今後の方向性について検討すべき。
- ④道路維持管理（道づくり）は、自治会員の高齢に伴い出来なくなっているため検討すべき。
- ⑤財産に関する調査は漏れのないよう十分把握すること。



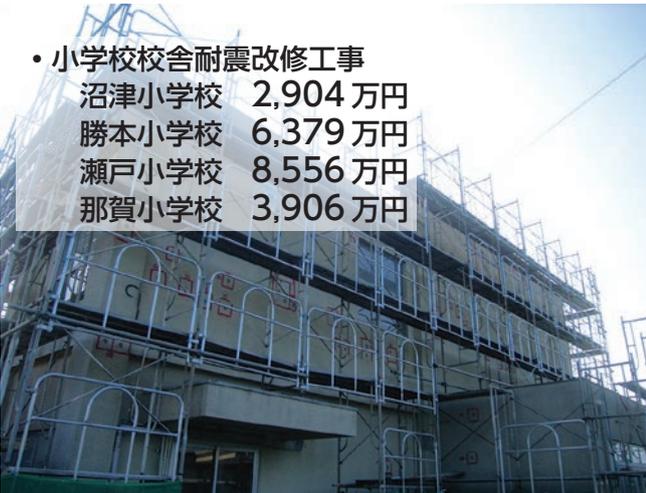
監査委員室の様子（吉田代表と喜多委員）

平成24年度の主な事業

・国民宿舎壱岐島荘改修工事 1億6,117万円



・小学校校舎耐震改修工事
 沼津小学校 2,904万円
 勝本小学校 6,379万円
 瀬戸小学校 8,556万円
 那賀小学校 3,906万円



・中学校校舎耐震改修工事
 郷ノ浦中学校 6,725万円
 石田中学校 1億411万円



・国民体育大会推進費
 大谷公園ソフト専用球場 1億327万円
 ふれあい総合グラウンド 2,740万円



市の貯金と借金

◎平成24年度末の基金・市債残高

会計名		基金残高(貯金)	市債残高(借金)
○ 一般会計		81億 1,127万 0千円	294億 336万 4千円
○ 特別会計	国民健康保険事業	1億 5,667万 0千円	56万 5千円
	介護保険事業	4,869万 5千円	
	簡易水道事業		34億 5,061万 6千円
	下水道事業		19億 1,468万 1千円
	特別養護老人ホーム事業	4億 9,483万 9千円	
	三島航路事業		3,939万 9千円
	農業機械銀行	1,152万 2千円	
	合計	7億 1,172万 6千円	54億 526万 1千円
一般会計、特別会計の合計		88億 2,299万 6千円	348億 862万 5千円

未収金一覧表

(単位：円)

税目(収入率)		現年度未収金 (H24年度1年分)	現年度 収入率	滞納繰越金 (H23年度以前の分)	過年度 収入率
市税 (86.1%)	①市民税(92.8%)	14,470,553	98.4%	51,059,810	16.7%
	②固定資産税(80.5%)	21,096,234	97.8%	184,502,808	8.2%
	③軽自動車税(92.2%)	1,690,025	98.2%	6,031,916	15.8%
	④都市計画税(1.3%)	(平成16年3月廃止)		5,089,994	1.3%
国民健康保険税(71.7%)		49,257,553	94.7%	300,096,793	10.0%
後期高齢者医療保険料(97.7%)		1,087,730	99.3%	2,513,600	20.8%
介護保険料(94.6%)		5,934,950	98.8%	22,546,320	4.9%
簡易水道使用料(92.0%)		3,273,310	99.2%	31,271,884	8.7%
上水道使用料(97.2%)		4,376,100	97.2%	40,175,953	11.1%
下水道使用料(95.5%)		315,860	99.3%	1,901,570	7.5%
市営住宅使用料(84.4%)		4,345,060	96.6%	19,300,710	16.3%
幼稚園使用料(99.3%)		262,800	99.3%	0	100.0%
保育料(99.1%)		272,500	99.8%	885,100	43.4%
農業機械銀行使用料(98.7%)		812,835	98.8%	131,025	70.8%
家畜診療所手数料(98.5%)		881,448	99.4%	1,478,660	10.9%
市民病院患者自己負担金(86.5%)		14,915,975	93.6%	21,935,437	41.6%
かたばる病院患者自己負担金(93.2%)		1,608,053	95.3%	901,460	68.6%
特養ホーム利用者負担金(98.2%)		86,786	98.2%	0	100.0%
財産収入 (99.5%)	・土地建物貸付等	275,862	99.6%	24,000	66.7%
諸収入 (92.0%)	・生活保護返納金等	6,310,977	97.1%	16,990,031	14.1%

議案と審議結果一覧表 (9月、10月会議)

番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果	
9月 議案 1	八幡浦地区特定漁港整備工事請負契約の締結	—	9/13	可決
議案 2	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更	産業建設	9/27	可決
議案 3	吉崎市附属機関設置条例の一部改正	総務文教厚生	9/27	可決
議案 4	吉崎市税条例の一部改正	総務文教厚生	9/27	可決
議案 5	国民健康保険税条例の一部改正	総務文教厚生	9/27	可決
議案 6	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	総務文教厚生	9/27	可決
議案 7	吉岐地域移行型ホーム設置及び使用に関する条例及び職員定数条例の一部改正	総務文教厚生	9/27	可決
議案 8	吉岐焼酎による乾杯を推進する条例の制定	産業建設	9/27	可決
議案 9	公の施設の指定管理者の指定 (吉崎市立一支国博物館)	産業建設	9/27	可決
議案10	公の施設の指定管理者の指定 (ケーブルテレビ施設)	産業建設	9/27 10/10	継続審査 可決
議案11	平成25年度一般会計補正予算 (第4号)	予算特別	9/27	可決
議案12	平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	総務文教厚生	9/27	可決
議案13	平成25年度介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	総務文教厚生	9/27	可決
議案14	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第3号)	産業建設	9/27	可決
議案15	平成25年度下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	産業建設	9/27	可決
議案16	平成25年度特養老人ホーム事業特別会計補正予算 (第1号)	総務文教厚生	9/27	可決
議案17	平成25年度三島航路事業特別会計補正予算 (第1号)	総務文教厚生	9/27	可決
議案18	平成25年度農業機械銀行特別会計補正予算 (第1号)	産業建設	9/27	可決
議案19	平成25年度病院事業会計補正予算 (第1号)	総務文教厚生	9/27	可決
議案20	平成25年度水道事業会計補正予算 (第1号)	産業建設	9/27	可決
認定 1	平成24年度一般会計歳入歳出決算認定	決算特別	9/27	認定
認定 2	平成24年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/27	認定
認定 3	平成24年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/27	認定
認定 4	平成24年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/27	認定
認定 5	平成24年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9/27	認定
認定 6	平成24年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9/27	認定
認定 7	平成24年度特養老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/27	認定
認定 8	平成24年度三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/27	認定
認定 9	平成24年度農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9/27	認定
認定10	平成24年度病院事業会計決算認定	総務文教厚生	9/27	認定
認定11	平成24年度水道事業会計決算認定	産業建設	9/27	認定
承認 1	議案の一部訂正	—	9/13	承認
諮問 1	人権擁護委員候補者の推薦 (石田町 百崎正子さん再任)	—	9/27	了承
陳情 1	森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	総務文教厚生	9/27	採択
陳情 2	国に対し「2014年4月からの消費税率引き上げ中止を求める意見書」の提出を求める陳情	総務文教厚生	9/27	不採択
議員発議 1	「地方税財源の充実確保」意見書の提出	—	9/27	可決
議員発議 2	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」意見書の提出	—	9/27	可決
10月 議案 1	平成25年度一般会計補正予算 (第5号)	—	10/10	可決

委員会レポート



☆各委員会の審査状況を報告します。

予算特別委員会

委員長：市山 繁
副委員長：豊坂 敏文
委員：全議員
(議長・オブザーバー)

平成 25 年度一般会計補正予算（第 4 号）について審査を行い原案可決とした。

総額 8 億 2,134 万円の補正額が提示され、家畜導入事業に 1,902 万円等、畜産振興に向けた助成などがあげられた。

その他、しまとく通貨やイルカパークのイルカ購入等の補正に対し質疑が交わされたが、全会一致で可決となった。

【委員会意見】

予算内容等については審議の必要があるので、報道機関には議会終了後に報告すべきである。

総務文教厚生常任委員会

委員長：豊坂 敏文
副委員長：市山 和幸
委員：市山 繁、鶴瀬 和博
小金丸益明、土谷 勇二
赤木 貴尚

早期発見、早期治療の観点から特定検診の受診率の向上に努力されたい。また、収入未済額の納付督促等回収に努めること。

○H 24 年度病院事業会計決算認定について、個人未収金の回収対策として連帯保証人へ通知するなど強化を図ること。

○消費税率の引き上げ中止を求める陳情については、国の財政的な直接税を改正するものでやむを得ずとし不採択すべきとした。

付託された議案 10 件、認定 6 件、陳情 2 件を審議した。議案は 10 件全てを可決、認定は 6 件全て認定するものとし、陳情 1 件は採択、1 件を不採択とした。

【委員会意見】

○H 24 年度国民健康保険事業決算認定について、高額医療費が年々増加傾向にあるので、



動産公売会(差し押さえ品)

産業建設常任委員会

委員長：深見 義輝
副委員長：呼子 好
委員：牧永 護、久間 進
中田 恭一、田原 輝男
今西 菊乃、音嶋 正吾

も飲める商品開発」や島外者も含めた P R 活動を図ること。

○一支国博物館の指定管理者について、指定管理者の自主事業を図り有料入館者数の増加で運営を図ること。

○ケーブルテレビ指定管理者について、管理者の創意工夫、利用者に対するサービス向上、及び管理運営に対し、再度調査するため継続審査した。

【継続審査】10 月 4 日、委員会を招集し継続審査した結果、次の意見を付して可決した。

議案 8 件、及び決算認定 4 件の付託を受け、審査の結果、議案 1 件を継続審査とした。

【委員会意見】

○簡易水道、下水道特別会計及び、水道事業会計の決算認定は、未収金の徴収努力は認めるが、年次計画と合わせて効果的な対策を実施し、更に未収金解消に努めること。

○壱岐焼酎による乾杯を推進する条例は、市民に理解を求めるため、酒造組合等に「誰で

※施設利用者に対するサービス向上を第一義とし、管理経費の圧縮を含め健全な経営形態の確立を図ること。番組制作は、市長が委嘱した放送番組審議会委員及び利用者の意見を広く取り入れながら、視聴者が望む魅力ある番組づくりに努めること。医療や見守りシステムの構築など、光インターネットを活用した福祉、教育、行政サービスを自主事業として提案したものについては、市と連携して早期実現に取り組みを行うこと。

一般質問

一般質問席

8人が登壇

「市政を質す」

一般質問とは、普段の議員活動の中で考え得たことを公表し、市政に関する疑問点を質し、市民の要望に叶う施策を問う場。



市山 繁 議員

◎ 畜産業の振興と維持対策

①畜産業は、農家の貴重な収入源である。高齢化に伴い、飼育戸数及び飼養頭数、子牛出荷頭数が減少しており、維持対策を講ずべき。

②JAでは増頭対策プロジェクトを結成し繁殖牛8千頭の目標達成に取り組むとされているが、現況の実態調査をすべき。

③吉岐牛のブランドを維持するため市とJAが連携し、意欲ある増頭者への支援、団地化牛舎、アパート式牛舎、雇用対策等で農家の所得向上支援策を。

▲ 魅力ある畜産経営を目指す 市長

①国県の事業を活用した牛舎等の補助による繁殖牛の増頭・維持と、市単独事業の緊急増頭対策や活性化プロジェクト事業による畜産農家の積極的な取り組みを推進している。

②JA吉岐市では、第7次営農振興計画において平成27年度繁殖牛8千頭を目標としているが、先ず7千頭の回復を目指す。

③吉岐牛のブランド化を進めるために、新規就農と大規模参入は別途諸策を講じる必要がある。

◎ 県病院企業団加入はいつ

吉岐市民病院は、総病院長を迎え、医師の確保と院内の改善等、企業団加入に向けての準備態勢も進んでいる。病院企業団加入の予定時期は。

▲ 今年度中に加入時期を決定 市長

加入時期について、これまで平成26年4月1日としていたが時間が無い。法的手続きを踏まえた上で、少なくとも今年度中に加入時期の結論を得たい。引き続き全力で取り組む。



畜産繁殖農家の新規就農者（郷ノ浦町 野元さん）



土谷 勇二 議員

◎ 観光振興について

①地域おこし協力隊4名の稼働で、島民と協力し農・水産物を活用した新しい特産品やメニューの開発、そして6次産業の雇用まで市はどのような支援をするのか。

②岳ノ辻などの観光施設に洋式トイレがない。国体等に向けて観光地、公共施設の充実を図るべき。

▲ 心地よい風を感じる島に 市長

①農水・商工連携による商品開発となる諸施策の推進を行ってきた。引き続き官民共同で行う。

②観光施設の公衆トイレの30%ほどが汲み取り式である。老朽化による既存施設の改修を含めた公衆トイレの水洗化を図っていく。壱岐を訪れた方には、市民がこぞって歓迎していることを感じていただけるような、そんな島づくりが必要だと感じている。

◎ 玄海原発を見据えて

玄海原子力発電所を目の前にした住民の不安は大きい。避難方法など確立したのが見えていない。

①昨年11月と今年2月の長崎県防災訓練の結果と反省点は。



原子力防災訓練で勝本町かざはやに避難 H24.11.17 (今年は11月30日に訓練あります。)

②県防災訓練は今年度もやるのか。それとも市独自でやる考えがあるか。

③インフラ整備が遅れている。早期解決を。1号機は昭和50年、2号機は昭和56年稼働で古くなっており廃炉にすべきではないか。

▲ 原子力があること自体が危険 市長

①避難道路が狭いなどの多くの意見があり、避難移動にも時間がかかる等の反省点を踏まえ実働訓練の必要性を感じた。

②県の原子力防災訓練は本年も11月下旬に予定しており、毎年行う。

③危険性が何百分の一でもあれば再稼働は反対。国の早期の原子力対策の方向性を待つ。



音嶋 正吾 議員

◎ 重度心身障害者の救済を

①市長の障害者の現状認識について問う。

②市内に重症心身障害者の在宅介護者が存在するが、医療的ケア・人員配置など環境の整った市民病院にシ

ョートステイの整備が可能ではないか。

▲ まずは病院体制の確立を

①重度知的障害者139名、重度身体障害者919名。この内、重度心身障害者は48名。市外障害者施設の入所者以外、約20名が市内在宅と把握している。

②重症心身障害者、障害児のための医療型ショートステイは現在のところ壱岐にはない。今、市民病院は病院企業団加入という方向に向けて、救急医療充実のための体制を整備している段階。

◎ 島民避難を万全に

①玄海原子力発電所に核燃料物質を含む燃料棒の搬入の報道がある。県からの報告の有無と、市長の原発再稼働に対する見解は。

②原子力災害が発生した場合の島外脱出手段が最優



県総合防災訓練 (H25.5.19 郷ノ浦港埋立地)

先課題である。そのための避難道路、ヘリポート等のインフラ整備を促進すべき。この機会に原島・大島間の架橋早期実現のため国等への働きかけを。

▲ 事故の可能性があるかぎり防災訓練

①核燃料物質の状況については、覚書が結ばれてから今日まで、3回の情報提供があっている。再稼働については、事故の可能性がある限り反対である。

②昨年10月の県知事要望において、避難用幹線道路の整備や勝本港を避難拠点港とする港湾整備、あわせてヘリポート場の整備などの要望を行った。また、三島架橋についても、今年度、壱岐市単独での知事要望の項目として上げている。



市山 和幸 議員

教育長

- ①小学校統廃合は検討委員会の答申を待って示す。慎重に検討する。
- ②跡地の利活用については、民間への譲渡も含め検討する。提案の農水産加工販売所複合施設についても検討する。

Q LED照明で省エネを

本市施設の照明にLED照明（発光ダイオードを利用した省エネ灯）を推進し、消費電力を削減し省エネ対策を図るべき。

A 前向きに考える 市長

器具本体から交換が必要な場合は多額の費用がかかるが、LVD照明（無電極灯）とともに前向きに考える。

Q 跡地の利活用を急げ

- ①小学校統廃合は慎重に検討すべき。
- ②中学校跡地の利活用が進んでいない。他市の事例も参考にして民間への無償譲渡を含め早急に検討すべき。

A 民間譲渡も検討

Q 悪質商法対策の徹底

高齢者を狙う悪質商法による被害が増加している。クーリングオフ制度についても、あらゆる市の広報を使って注意を呼びかけるべき。

A 出前講座の活用を 市長

市への相談も3年前の14件から昨年度は47件に増えた。出前講座を是非活用してほしい。今後もあらゆる広報で告知する。

Q 期日前投票かんたんに

高齢者や障害者は投票所で宣誓書を書くことに大きな負担を感じているので、入場券の裏に印刷しておく事はできないか。また、投票当日の投票も、どの投票所でも出来るようにしては。

A 次回の選挙から 選挙管理委員長

県内でも4市が実施している。次回選挙も視野に入れ検討する。



市の出前講座で悪質詐欺について学べます。



鵜瀬 和博 議員

A 前進をめざす 市長

- ①箱崎中の一部を特養老人ホームに、渡良中に渡良小を移転予定。そのほか、具体的に進捗はない。
- ②副市長に期限を明確に指示し、売却も含め積極的に検討する。
- ③若手職員のプロジェクトチームを設置し、文科省に登録し、公募する。県立大には早速、相談する。

Q 子どもは壱岐の宝

①学校教育予算の考え方は。近年、子どもたちのスポーツでの活躍は目覚ましい。本市からも五輪選手を輩出するような指導者育成や環境整備を。

Q まずは、行動を

- ①中学校跡地利活用検討委員会の進捗は。
- ②第1期市総合計画終了の平成26年度末までに売却も含め、早急に策定すべき。
- ③民間、若手職員によるプロジェクト設置や県立大学等との連携、文部科学省の廃校プロジェクトに登録し、公募しては。

②複式学級編成の基準引き下げ、改善、支援員加配等県への要望書の回答は。財政措置として離島活性化交付金の活用は。

A 市単独でも支援する 市長

- ①教育委員会の意見を尊重し予算措置。指導を受ける環境を支援していく。
- ②支援員配置等県の支援策を期待するが、市単独でも実施する。交付金は県の指導のもと、十分検討する。



11/7 開催の県中体連へ向けて練習（郷ノ浦中学駅伝部）



今西 菊乃 議員

◎ 細やかな高齢者対策

高齢者の小さな声が行政に届く体制づくりが必要。早急に対策を。

- ①高齢者は視力が衰え白線を頼りに道路を歩いているが、その白線が消えている。
- ②舗装に段差や小さな陥没

があるため、手押し車が転倒し骨折をする事態が発生している。

- ③福岡のジェットフォイル待合室の堅い椅子の改善を。

Ⓐ 随時補修する 市長

- ①随時補修を行っている。今年度は1、2級路線を中心に65キロ区画線を整備する。
- ②地元からの連絡があれば、現地を確認し随時補修をおこなっているが総計1,336キロの道路維持補修費は多額であるため、予算範囲内で施工する。
- ③管理をしている(株)ベイサイドプレス博多・九州郵船(株)・福岡市に航路対策協議会を通じて働きかける。

◎ 子育て環境整備

検討委員会を設立し子育て支援に取り組んでいる



が、放課後児童クラブと幼稚園・保育所と重なった時の利用料金が親の大きな負担となっている。

モデル的に幼・保連携の園を設置し、保育料の軽減に取り組んでは。

Ⓐ 子育て支援調査の検討中 市長

料金については平成26年4月頃に国の公定価格が提示される予定である。その後子ども子育て会議等の意見を聞いて検討する。

幼保連携は、園舎をそのままに使用する条件をクリア出来るのは石田だけである。可能性は非常に大きい。



赤木 貴尚 議員

◎ しおかぜ総文祭の夢を実現

壱岐商業高校情報メディア部の全国一位に輝いたアイデアを活かす事はできないか。

Ⓐ 商高メディア部と意見交換する 市長

◎ 国体に向けリアルタイムで情報を

離島甲子園で壱岐選抜が優勝し島内が沸いた。しかし大会のお知らせや試合結果など周知体制に問題あり。国体に向け、島外からの参加者、受入側住民に分かりやすいお知らせを。

Ⓐ 反省点を活かし情報提供など検討する 市長

◎ 壱岐の観光案内所

壱岐を楽しんでもらうために「しまとく通貨」の販売促進をするために、観光案内所として空き店舗を活用して島民との交流を図っては。

Ⓐ 空き店舗は難しい 市長

個人所有の空き店舗を「いいよ」とおっしゃる方があればぜひ利用したいが、セキュリティーの問題等で難しい。

◎ 地域おこし協力隊の役目は

Ⓐ 島の活性化 市長

活動の中で定住定着につながる起業、または生業づくりを築き、3年後には壱岐の島に定住され、引き続き地域活性化に奮闘していただきたい。

◎ 商工業への取り組みは

Ⓐ イベントこそ商工振興 市長

本年の最重要施策として『しまとく通貨』利用促進に取り組む。色々なイベントで商工振興を行う。

◎ インターネットの活用

壱岐市を宣伝する手段として無料のSNS(フェイスブック・ライン・ツイッター等)を活用すべき。

Ⓐ SNSは活用しない 市長

あらゆる情報手段にあれもこれも取り組むのではなく、広報担当業務のホームページ、ブログ、フェイスブックをさらに充実した形で取り組んでいく。



しまとく通貨ここで買えます！
(郷ノ浦港ほかで販売)



呼子 好 議員

◎ 本庁舎の建設

庁舎建設は合併特例債発行期限となる平成30年までに必須となる。その際、現庁舎と支所・事務所機能はどうするか。また、庁舎建設検討委員会の市民への中間報告は。

▲ 答申を待つ 市長

建設検討委員会の平成26年3月までに出来る答申が出るまで発言は慎む。

◎ 特養ホームの建設

当初建設計画より大幅に遅れているが、その進捗状況について建設予定地の住民への周知は。また、経営形態は公設民営化100床か。

▲ 民設民営化を視野に 市長

鯨伏地区より早急にと建設要望され、ゲートボール場を候補地として地質調査を終え、早急に地元説明会を開く。民設民営化を視野に入れ100床規模、20床のショートステイで計画している。

◎ 6次産業の取り組み

農水商工連携による雇用の拡大を図る国の離島流通効率化事業メニューを活用しないのか。

▲ 付加価値産業の振興 市長

本市と農漁協で6次産業化が図られている。引き続き、関係団体との協議を進める。

◎ 道路等、危険箇所の改善を

郷ノ浦バイパス開通により、元居の郷ノ浦漁協付近の改良が必要では。

▲ 公民館長より申請を 市長

補修はするが、館長からの申請方式としている。元居は交通量が増えており、臨海道路であるため県振興局及び警察と協議する。



特別養護老人ホーム建設予定地（湯ノ本）



私たちの 願い

依頼者：全国市議会議長会
「地方税財源の充実確保」についての
意見書提出 可決

意見書(抜粋)

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続く中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。

よって、国においては、地方交付税の増額による一般財源総額の確保と、地方税源の充実確保等、実現されるよう強く求める。

提出者：全国森林環境税創設促進議員連盟

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情

採択 → 意見書提出可決

意見書(抜粋)

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

可決した意見書は、政府各関係機関へ送付した。



議会から
「お知らせ」

「議会報告会は、
来年2月に開催します。」

市民の 声



議会だよりクイズの
応募の中で
お寄せいただいた
ご意見ご感想を
ご紹介します。

Photo 壱岐しま “秋風情”



読書の秋

子ども劇場による「読み聞かせ」

ある新聞で壱岐商生の手づくり野菜が農協アグリプラザで販売されていると書いてありました。野菜を育て収穫し販売する。今からビジネス感覚を養うのは素晴らしいと思います。 62歳



食欲の秋

お年寄りや子どもたちにやさしい市政を実現させてください。また、廃校後の学校や運動場などの有効活用も考えて頂きたいです。 48歳



美味しい“壱岐スイーツ”



市議選も終わり、新しいスタッフの活躍を期待しています。 48歳

スポーツ の秋

中学生駅伝大会 10/3

今、子育てをしています。子どもが遊べる所が少ないし、まだ小さいので室内とかが無料で遊べる施設がもっとあればいいと思います。 34歳

小学校統廃合しないと子どもたちが可哀想です。好きな野球、バレーが出来ないのも一つだと思う。 50歳

図書カード
当たりますよ
うに!! 12歳

新メンバーの顔が揃った新議会に期待。壱岐市のために、壱岐市民のために、よりよいまちづくりを!! 57歳



第19回

議会だよりクイズ

石田幼稚園の
 おともだち

るい君



ゆうすけ君



こうちゃん

あいちゃん



第18回クイズの答え

①湯ノ山 ②小学校統廃合 ③10
 応募総数21人中20人が全問正解です。
 ご応募ありがとうございました。

～ 第18回クイズの当選者 ～
 松本ちづ代様 山内寿恵様
 岡口夢奈様 林田ゆかり様
 高松利夫様 (順不同)
 おめでとうございます!

クイズに答えて
 図書カード(1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってま～す!!

クイズ

「次の問題に答えよう」
 ○に当てはまる言葉は何か?

- その① 吉岐焼酎で乾杯を推進する強調月間は○月と○月。
- その② 一支国博物館とケーブルテレビの2期目の指定管理期間は○年。
- その③ イルカパークのイルカが減ったためメス○頭を補充する。



ヒント この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで良く読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、市政へのご意見・ご要望などもお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。
 (当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521
 吉岐市勝本町西戸触 182-5
 吉岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成25年11月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

暑い・熱い夏が終わりました。真夏の選挙を終えた市議会は、議員定数が20人から16人となりました。自治体における議員の適正な数については様々な議論があるかと思いますが、吉岐市議会の改革度を感じる一つの数値になったのではないのでしょうか。新たに新米議員2人が加わり、市民の皆様も『新しい風』が吹くことを期待されていることと思います。議会だよりも新しい顔ぶれでスタートし、過去の編集方針を参考に、より皆様に親しまれるものを心がけながら『新しい風』を吹かせたいと思います。

心地よい秋の風も、冷やりと肌に凍みる季節へと変わります。体調の変化にも気をつけながら多忙な年末をのり越えましょう。

赤木 貴尚



議会広報特別委員会
 委員長 赤木 貴尚
 副委員長 久間 進
 委員 牧永 護
 豊坂 敏文
 深見 義輝
 土谷 勇二

お知らせ

吉岐市ホームページ



<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

吉岐市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521
 長崎県吉岐市勝本町西戸触 182-5
 TEL: 0920-42-1111
 FAX: 0920-42-0096
 【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp
 【URL】http://www.city.iki.nagasaki.jp



吉岐市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。